

青丘文庫研究会 —第6回 映像を通して見る— まだ視ぬアーカイブを可視化する！

日時: 7月10日(日) 13:00~(開場 12:30)

場所: 在日韓国基督教会館(KCC 会館)



〈プロローグ〉※参考上映「古代からの歴史に見る—日本列島と朝鮮半島」(1984/30分/16ミリ)

〈第1部〉鶴橋本通り「キョンチャルアパート」(2022/10分/撮影:高仁鳳 金稔万 編集:金稔万)

トーク:塚崎昌之さん

〈第2部〉奈良「どんづる峯と柳本飛行場」(2022/30分/撮影・編集:金稔万)

トーク:田中正志さん・高野眞幸さん 聞き手:川瀬俊治さん

〈第3部〉「ウトロ 家族の街」(2002/58分/監督:武田倫和/総指揮:原一男)

トーク:齊藤正樹さん・武田倫和監督 聞き手:飛田雄一さん

《資料代》1500 円 * どなたでもご参加いただけます！

お問合せ 電話 078-754-8039(神戸映画資料館)

【E-Mail】info@kobe-eiga.net(神戸映画資料館) hida@ksyc.jp(青丘文庫研究会)

場所: 在日韓国基督教会館(KCC 会館 5 階ホール)

〒544-0032 大阪府大阪市生野区中川西 2 丁目 6-10

■地下鉄千日前線・今里筋線「今里駅」②番出口から南へ徒歩 15 分

■市バス: 中川西公園前 歩いてすぐ

主催: 青丘文庫研究会 神戸映画資料館

至 地下鉄「今里」駅



スーパー玉出

中川2丁目



KCC会館

今里筋



元バチンコエンバヤ

第1部 鶴橋本通り「キョンチャル アパート」 キョンチャルアパートのキョンチャルとは、大阪市生野区所在の 旧鶴橋警察署跡のことである。この警察署は1913年から1934年まで存続し、その後この建物が福祉団体に払い下げられ、戦後は更に民間に売却されてアパートとなり、2011年に解体撤去された。このアパートが昔、警察署だったということから、地元では「キョンチャル(警察のハングル読み)アパート」と俗称されていた。解体後、ここに警察時代の煉瓦塀が残存していることが確認された。前回、上映した『幻のフィルムでつづる建国の60年』を製作した故高仁鳳さんが遺された映像を再編集して上映する。



第2部 奈良「どんづる峯と柳本飛行場」 奈良県天理市では、1995年に誕生した歴史説明板が、歴史修正主義者の天理市長により2014年4月18日に突如取り払われ、さらにわたしたちが市民のカンパで建てた説明板を、法律違反も犯していないのに、「違反している、直ちに撤去を」(天理市農業委員会)と迫ったのです。これら行為を公人(市長、役人)が平然と犯しているところに、植民地支配未精算の闇の深さがあります。今回上映する映像は2010年撮影の故藤原好雄さんのフィールドワークの様子と2018年8月に来られた遺家族、金成嬉さんの証言を中心に編集しました。是非、ご覧ください！



第3部 「ウトロ 家族の街」 京都府宇治市にある在日朝鮮人の街「ウトロ」。親子四代にわたってウトロに住む田中[徐]信雄(57)にとって、ここはかけがえのない故郷。映画は彼の一家を中心に、故郷に住み続けるために闘いながら、独自の文化を守って生きるウトロの人々の日常を描き、ここに住み続ける意味を問う。(2002年度作品)2021年8月30日。ウトロの空き家付近から出火があり、住民が暮らしている民家2棟にも延焼し、7棟が全半焼した。2022年4月に開館予定の「ウトロ平和祈念館」に展示するために倉庫に保管されていた史料約40点も焼失した。当初は失火の可能性もあるとみられていたが、2021年12月6日、京都府警は奈良県桜井市の男(22)を非現住建造物等放火の疑いで逮捕した。

